

1.工事の前に

1-1.据付工事をされる方に

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工が必要です。据付工事の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この説明書は、工事後「取扱説明書」とともに、お使いになるお客様にお渡しし、保管いただくよう依頼してください。
- この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
- この製品は作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所には据え付けしないでください。
- この製品はリモコンを接続しないと動作しません。必ずリモコン（台所リモコン、浴室リモコン）を接続して使用してください。
- 次世代省エネ基準（IBEC発行）のⅠおよびⅡ地域では、機器が故障する恐れがあり使用できません。据え付けしないでください（冬の最低気温が -10°C を下回る地では、機器の性能が十分発揮できないことがあります。）
- 浴室では、やけど防止のため、サーモスタット付き混合水栓を必ず使用してください。
- 積雪地域ではヒートポンプユニットに架台、防雪屋根を必ず取り付けてください。取り付けは、付属の説明書に従って取り付けてください。
- 大型・特殊浴槽（ふる循環アダプタ中心 $+10\text{cm}$ までに 400mm 以上）は取り付けできません。

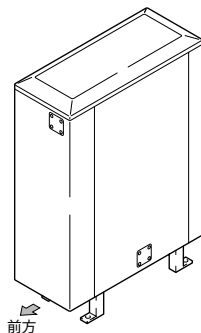
お願い

- ・ 製品の上には乗らないでください。製品の変形や故障の恐れがあります。
- ・ 上水道直結の配管工事は、必ず当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- ・ 電気工事は、電気設備に関する技術基準および内線規程に基づいて、必ず指定工事業者が行ってください。

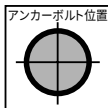
1-2.構成部品（システム型式名 RES3015HP）

貯湯タンクユニット

RE3015HP

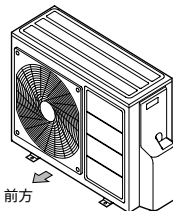


アンカーボルトの位置決めに
使用してください。
（詳細は表紙ページ右上参照）



ヒートポンプユニット

REHP451



ヒートポンプユニット同梱部品

ドレンニッ플



貯湯タンクユニット同梱部品

施工説明書

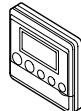
取扱説明書

保証書



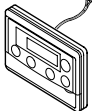
台所リモコン

RAC139K



浴室リモコン

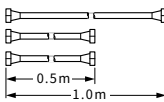
RAC139F



別売部品

絶縁パイプ

給水:RHE95 (0.5m)
給湯:RHE94 (1.0m)
ふる:RHE149 (0.5m) $\times 2$



リモコンコード

RHG351-3 (3m)
RHG351-5 (5m)
RHG351-8 (8m)
RHG351-10 (10m)
RHG351-15 (15m)
RHG351-20 (20m)



絶縁パイプセットB

RHE612
上記絶縁パイプのセット

逆止弁止水栓

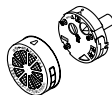
RHE637
逆止弁止水栓 ($\times 1$)
(ヒートポンプ配管A側)



($15\text{A}; 80^{\circ}\text{C}$ 耐熱)

ふる循環アダプタ

RHA1163-*



2. 据付工事

2-1. 据付場所の選定

- 機器と建物とのすき間寸法については、各都市の火災予防条例に従ってください。
- ヒートポンプユニットおよび貯湯タンクユニットは機器の性能および保守点検のため「据付場所の制約」のスペースを確保してください。
- ヒートポンプユニットは通気性の良い場所に据え付けてください。
- 配管に関する「据付場所の制約」を守ってください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、できるだけ給湯場所に近い所へ据え付けてください。
- 貯湯タンクユニットは原則として屋外据付ですが、室内（機械室）に据え付ける場合は通気のため、密閉室にしないでください。
- 浴室など湿気の多い所には据え付けしないでください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような所は絶対据え付けしないでください。
- 積雪地域へ据え付ける場合は、貯湯タンクユニットは小屋がけをして、降雪および屋根からの落雪を防いでください。
- 積雪地域へ据え付ける場合は、ヒートポンプユニットは架台の上に据え付けるなど、降雪および除雪による雪が空気吸込口・吹出口から入らないようにしてください。
また屋根等からの落雪がある場合は推奨品の防雪屋根等をつけて、落雪から機器を保護してください。
- ヒートポンプユニットは沸上げ中および凍結防止運転中に若干の運転音、振動が発生します。また沸上げ中は冷風がでますので、寝室やご近所の迷惑になる場所への据え付けは避けてください。
- ヒートポンプユニットは強風の当たらない場所を選定してください。
- 貯湯タンクユニット設置階の上の階に給湯するときは、貯湯タンクユニット設置階の給湯回路に流量調整バルブを取り付けてください。
- テレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。
(テレビ・ラジオに映像のみだれや雑音が生ずることがあります。)

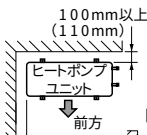
2-2. 据付場所の制約

ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット、および配管の据付制約

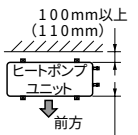
■ヒートポンプユニット単体の据付制約

- () 内は騒音対策推奨値です。
- 3方向に制約がある場合は据え付けができません。

【上から見た図】

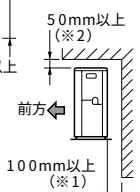


【上から見た図】



【横から見た図】

（吊下据付）

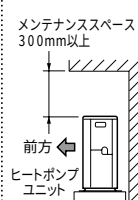


※1 吊下据付の場合は必ず背面を壁としてください。

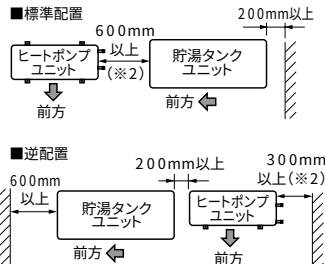
※2 吊下据付の場合はヒートポンプユニットの右側300mmも制約になります。

■メンテナンススペースに関する据付制約

【横から見た図】



【上から見た図】



※：ヒートポンプユニットの上側には300mm以上のメンテナンススペースを確保してください。

※：貯湯タンクユニットの上方向は200mmのスペースを確保して下さい。

※：貯湯タンクユニットの前方にはお客様が排水栓を操作できるスペースを確保してください。

■ヒートポンプ配管に関わる据付制約

配管全長：片道5m以下
曲り箇所：5箇所以下
高低差 ①：±3m以内
鳥居配管 ②：3m以下

●給水圧200kPa以上。

貯湯タンクユニット

ヒートポンプユニット



●図は説明用に配管の曲り箇所が6箇所以上ありますが、実際の施工では5箇所以下としてください。

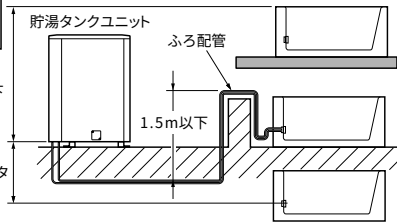
■ふろ配管に関わる据付制約

配管全長：15m以下(片道)
曲り箇所：10箇所以下(片道)
鳥居落差：1.5m以下
(浴槽が2階以上の場合は鳥居は不可)
階下と3階以上は不可

●給水圧200kPa以上。

浴槽上端より4m以下

機器底面から
ふろ循環アダプタ
まで1.5m以内



△警告

- ・ 火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事や水道工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守る
資格・指定のない方が工事をするなど法令違反になる場合があります。
- ・ ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
万一冷媒が漏れと、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至る恐れがあります。
- ・ 可燃性ガスや引火物の近くに設置しない
発火・火災になる恐れがあります。

△注意

- ・ 塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）には設置しない
機器故障の原因になります。
- ・ 冠水するところには設置しない
冠水すると漏電や感電事故の恐れがあります。
- ・ 次世代省エネ基準によるIおよびII地域には、機器を設置しない
機器故障の恐れがあります。